

ひとひと 女と男グッドパートナーいきいき通信



VOL. 16
2024.3 発行

●発行：湖南省人権擁護課 ●TEL：0748-71-2354 ●mail：jinken@city.shiga-konan.lg.jp

イワタニランド区長 ^{かみ や} 神屋 ^{ち え こ} 千恵子さんにインタビュー！



区長になったきっかけを教えてください

どうしても頼まれて引き受けました。ですが「子育てや地域活動に関わってきた女性が区長になれば、違った視点で活動ができるからぜひ」と言われたことが大きかったです。

区長になってどうでしたか

女性としては、区長に声をかけやすくなったというのはあると思います。世間話の中から相談をしてくださることもあります。“仕事をしていたら区長はできない”など固定概念がありますが、できる範囲でやるというふうに区長も変わっていくべきだと思います。

女性の社会参画についてどう思いますか

男性とか女性とか言わないのが一番ノーマルじゃないかと思います。究極は、男女の枠がないのがいいと思います。「女性区長がでた」と言われるのは、まだまだ考え方が浸透していないということです。区長はあて職による役割も多く、家事分担ができていないと無理という女性もいるかと思います。そこには男性の理解も必要ですし、男性からも「出てきてほしい」「来てくれてよかった」とか言ってもらえると、応援されている感じがあってかなり違うと思います。

地域の活動で、性別による考え方の違いを感じますか

あまりないです。「男性」「女性」というより、世代間の違いは大きいと感じますね。若い人は家事分担などが進んでいますね。上の世代の方は、そんな考えもつかなかったと言っていました。

メッセージをお願いします

いろいろなことを男女が一緒にやっていくということが大事です。そして時代が変わっている中で、変わることを嫌がらず、男性も女性もお互いに変わらしましょう。チームのつながりは残して、役員の負担は軽減する工夫も大事です。地域によってお知らせをLINEでするとか、若い人にも使いやすくすることで、参加しやすくなったり、興味持ってもらえたりするのではないのでしょうか。

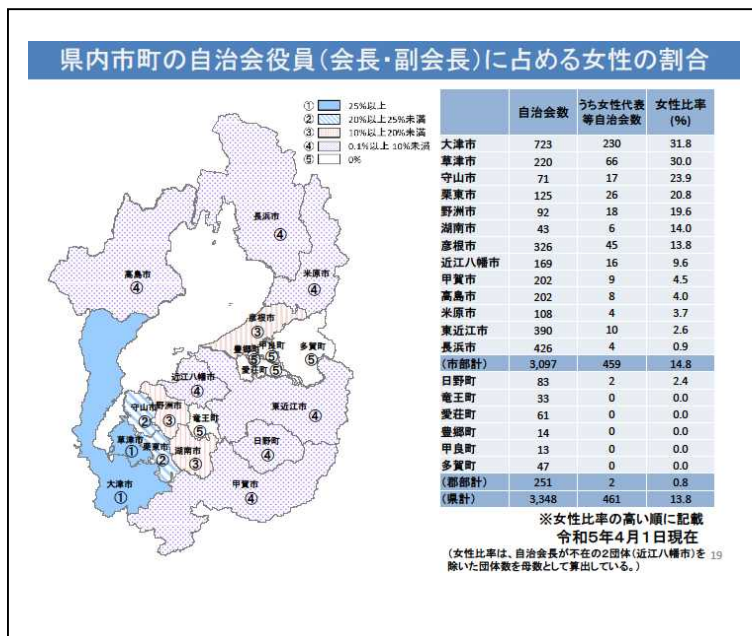
さまざまな地域活動に取り組む区や自治会では、日頃の活動だけでなく、災害時の避難所の運営などにも女性の意見を取り入れる必要があり、一層の男女共同参画の推進が求められています。地域における男女共同参画を進めるためには、女性が参加しやすい雰囲気づくりと男女が共に変わることで、若い世代が地域活動に参加できる工夫が必要であることがわかりました。

湖南省の男女共同参画推進状況



市町における男女共同参画推進状況調査結果

～県内市町の自治会役員(会長・副会長)に占める女性の割合～



令和5年4月1日現在、滋賀県全体では、自治会役員(会長・副会長)に占める女性の割合が平均13.8%です。湖南省は、14.0%で、県内で6番目に多い比率ですが、43ある行政区の代表(区長)のうち、女性は1人だけであり、男女共同参画が進んでいる状況とは言えません。

湖南省男女共同参画アクション2017計画(改訂版)では、2025年度に女性の代表または副代表がいる行政区の割合を17.0%にすることを目標にしています。(滋賀県HPより)

その他のデータなどは滋賀県HPをご覧ください。→



湖南省男女共同参画社会づくりに関するアンケート結果

育児休業の取得状況	令和4年度		令和5年度	
	取得率	平均取得日数	取得率	平均取得日数
配偶者が出産した男性社員	24.9 %	7.2 日	51.9 %	47.3 日
出産した女性社員	86.3 %	310.3 日	90.6 %	287.3 日

湖南省内の事業所における男女共同参画の実態を把握するために、企業訪問時にアンケートを実施しており、令和5年度は86社にご回答いただきました。アンケートの結果、育児休暇取得率は男性が51.9%、女性が90.6%でした。昨年度の、男性24.9%、女性86.3%と比較して、男性が27.0ポイント増、女性が4.3ポイント増となりました。

育児介護休業法が改定され、男性・女性ともに育児休業取得率が増加傾向にあり、ワーク・ライフ・バランス推進への取組が進んでいることがわかりました。



その他のデータなどは湖南省HPをご覧ください。→



2023 年度 事業報告



LBGTQ～多様な性を考える～(出会い・気づき・発見講座)

各地の講座、講座の開催、お問い合わせ・お問い合わせ

LBGTQ～多様な性を考える～

いつ: 7月12日(水曜日)午後7時～8時30分
どこで: みくも地域人権福祉市民交流センター (機能回復講座室)
(湖南市三宮1186番地)

講師: 内藤 れん さん (NPO法人QWRC スタッフ)

定員: 30人 (事前申し込みが必要です。市内在住・在勤のかた優先。先着順)

受講料: 無料

※申し込みの際は、電話、FAX、メール、郵送などでお申し込みください。申し込みは郵送でも可です。

※申し込みの際は、電話、FAX、メール、郵送などでお申し込みください。申し込みは郵送でも可です。

お問い合わせ先: 湖南市人権福祉市民交流センター (湖南市三宮1186番地)
電話: 0948-71-1132 FAX: 0948-72-3788
〒410-0288 湖南市湖南市第一分庁 (東分庁1階)

■講師: 内藤 れん さん (NPO 法人QWRC)

■日時: 2023 年 7 月 12 日 (水) 19:00～20:30

■場所: みくも地域人権福祉市民交流センター

一人ひとりの顔や性格が異なるように、性もまた一人ひとり異なります。自覚している性や身体の性、好きになる性は様々で多様なものです。LBGTQ に関する課題や解決方法などを内藤さんの経験を踏まえながらお話いただき、誰もが自分らしく生きやすい社会をつくるための第一歩となりました。

参加者の声

- ・正直、知らない内容が多く、深く知ることができた。
- ・カミングアウトが全ていいことではない。安心して話せる場所が必要。
- ・幼少期から学びを得ることで、全ての人が自分らしく自分を好きになって生きていけると思う。



ジェンダー平等・男女共同参画を考える(豊かなつながり創造講座)

■講師: 富川 拓 さん

■日時: 2023 年 8 月 25 日 (金) 19:00～20:30

■場所: みくも地域人権福祉市民交流センター

「ジェンダー・ギャップ指数 2023」では、日本は 136 か国中 125 位。「教育」「健康」の値は世界トップクラスですが、「政治」「経済」の値が低く、ジェンダー平等・男女共同参画が実現されているとは言えない現状です。「女らしさ」「男らしさ」に縛られることなく「自分らしく」いられることが本当のジェンダー平等につながっていくことを学びました。

各地の講座、講座の開催、お問い合わせ・お問い合わせ

ジェンダー平等・男女共同参画を考える

いつ: 8月25日(金曜日)午後7時～8時30分
どこで: みくも地域人権福祉市民交流センター
(湖南市三宮1186番地)

講師: 富川 拓 さん (准教授)

定員: 30人 (事前申し込みが必要です。市内在住・在勤のかた優先。先着順)

受講料: 無料

※申し込みの際は、電話、FAX、メール、郵送などでお申し込みください。申し込みは郵送でも可です。

お問い合わせ先: 湖南市人権福祉市民交流センター (湖南市三宮1186番地)
電話: 0948-71-1132 FAX: 0948-72-3788
〒410-0288 湖南市湖南市第一分庁 (東分庁1階)

参加者の声

- ・無意識に自分自身にひそむ価値観に縛られていると感じた。
- ・一人ひとりが「自分ごと」として考えることが大切と感じた。
- ・「女性のジェンダー」の話は多いが、「男性のジェンダー」について聞けて良かった。

相談事業 など



湖南省女性の悩み相談

女性のための無料相談です。

秘密は守られます。一人で悩まず、一度ご相談ください！

《予約制》前日の 15 : 00 までに以下のいずれかの方法で
予約してください。

～予約方法（人権擁護課）～

・TEL : 0748-71-2354

・mail : jinken@city.shiga-konan.lg.jp

■時間 ①14 : 30～15 : 30 ②15 : 30～16 : 30

■場所 サンライフ甲西（湖南省中央一丁目 1 番地 1）

2024 年度相談日カレンダー（すべて木曜日）

2024 年 4 月	4 日、18 日
5 月	2 日、16 日
6 月	6 日、20 日
7 月	11 日、18 日
8 月	1 日、22 日
9 月	5 日、19 日
10 月	3 日、19 日
11 月	7 日、21 日
12 月	12 日、19 日
2025 年 1 月	16 日、30 日
2 月	6 日、20 日
3 月	6 日、27 日

滋賀県「こころのサポートしが」【LINE 相談】

〈相談時間〉

毎日 16:00～22:00



滋賀県立男女共同参画センター（G-NET しが）

〈受付時間〉

火水金土日

9:00～12:00、13:00～17:00

0 7 4 8 - 3 7 - 8 7 3 9

4 月は「若年層の性暴力
被害予防月間」です。



まずは、話してみませんか？



リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉をご存知ですか？

女性が性や妊娠・出産に関わるすべてにおいて、身体的・精神的・社会的に良好な状態であること、そしてライフステージを通して、子どもを産むかどうか、産むならばいつ、何人産むか等、性や生殖等の自分の体に関するすべてのことを自ら選択し決定できる権利のことで、女性の人権の重要な概念の一つです。

近年、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての関心が高まっていることから、男女が共に、正しい知識を深める必要があります。

過去のいきいき通信はこちらでご覧いただけます→

